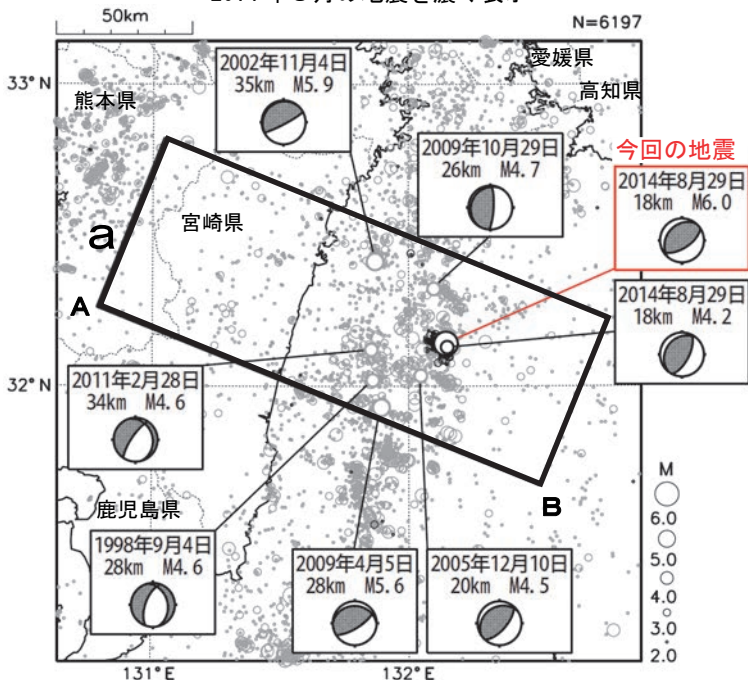


8 月 29 日 日向灘の地震

震央分布図
 (1997 年 10 月 1 日～2014 年 8 月 31 日、
 深さ 0～100km、 $M \geq 2.0$)
 2014 年 8 月の地震を濃く表示

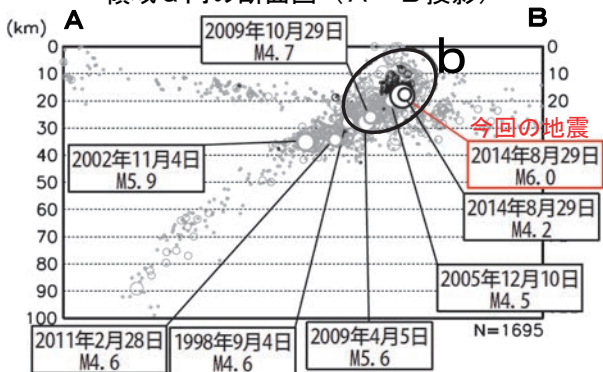


2014 年 8 月 29 日 04 時 14 分に日向灘の深さ 18km で M6.0 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。その後、震度 1 以上を観測した余震が 7 回発生した (8 月末現在)。余震活動は低下している。また、今回の地震の震源とほぼ同じ場所で、同日 01 時 30 分に M4.2 の地震 (深さ 18km、最大震度 2) が発生していた。

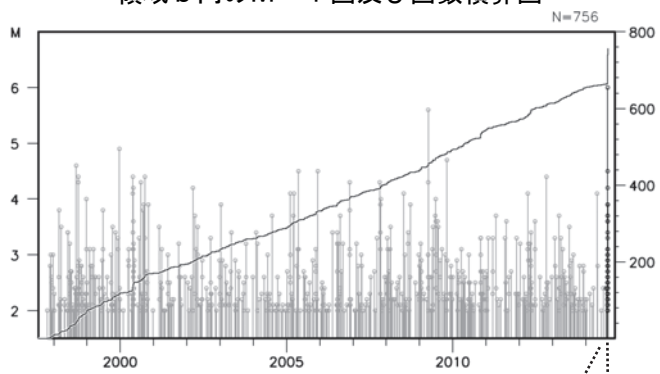
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) は、M4.0 以上の地震がしばしば発生するなど地震活動が活発な領域である。

1923 年 1 月以降の活動をみると今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、M6.0 以上の地震が時々発生している。最近では 1996 年 10 月 19 日に M6.9 の地震 (最大震度 5 弱)、同年 12 月 3 日に M6.7 の地震 (最大震度 5 弱) が発生し、ともに最大で十数 cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測している。

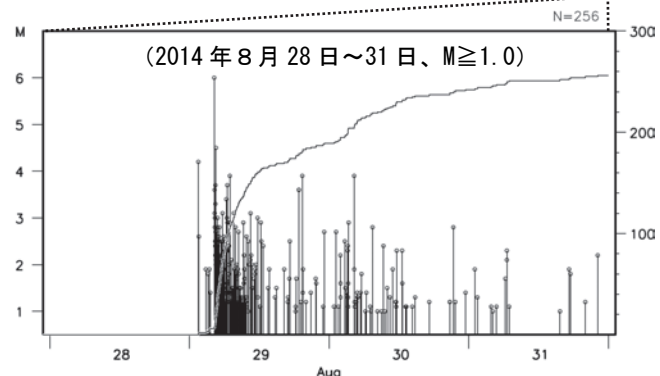
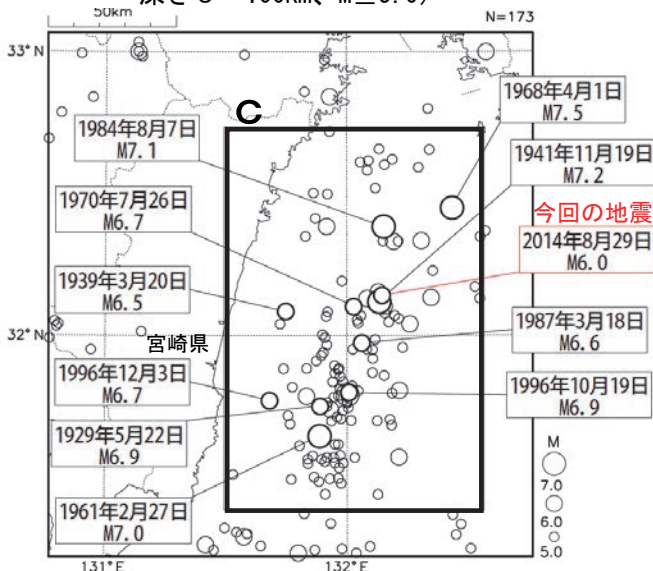
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2014 年 8 月 31 日、
 深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$)



領域 c 内の M-T 図

